

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4074400286
法人名	有限会社 オプティマムケア
事業所名	グループホーム朝茶
所在地	福岡県糟屋郡粕屋町大字長者原639-1 (電話) 092-939-3454

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	H21年 10月 14日	評価確定日	H21年 12月 15日

【情報提供票より】 (平成21年9月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 9月 7日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 常勤 5人, 非常勤 6人, 常勤換算 4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造耐火建築 造り
	2階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	(有) (180,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要 (平成21年9月28日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくらクリニック、福岡青州会病院、蓮田歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

代表者の社会経験を活かし、改善への取り組みや行政を巻き込んでの地域住民への認知症啓発活動への取り組みは、特筆すべきである。認知症予防のための「脳トレーニング教室」の行政協賛での開催や、夜間時の緊急事態に対応するために地域住民の協力を得た夜間の避難訓練実施が挙げられる。また、施設長を中心に職員が一丸となり、利用者主体のサービス提供や地域交流を重視した支援を心がけ、実践している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し、評価を活かして改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全職員から意見を聴取し、代表者、施設長、介護支援専門員が集約して作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的に行い、事業所の現状や課題、外部評価への取り組み等の報告を行い、委員の意見から夜間時の避難訓練及び地域住民の協力体制を構築する等、サービスの向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	代表者は、家族等が意見、不満、苦情をいつでも直接表せる関係を築き、それらを迅速に運営に反映させている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑥	自治会に加入し、地域に事業所便りを配布している。近隣の幼稚園、中学校と交流があり、地域行事へ積極的に参加して、地域の人々と交流することに努めている。また、各種ボランティアを受け入れている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で事業所独自の理念をつくりあげ、「地域との絆を深めて・・・」等、地域密着型の視点がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に理念を唱和し、会議時に介護現場での理念の具現化について話し合い、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域に事業所便りを配布している。近隣の幼稚園、中学校と交流があり、地域行事へ積極的に参加して、地域の人々と交流することに努めている。また、各種ボランティアを受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し、評価を活かして改善に取り組んでいる。自己評価は、全職員から意見を聴取し、代表者、施設長、介護支援専門員が集約して作成している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、事業所の現状や課題、外部評価への取り組み等の報告を行い、委員の意見から夜間時の避難訓練及び地域住民の協力体制を構築する等、サービスの向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、行政窓口で事業所便りを持参し、担当者と日常的にサービスの質の向上について意見交換をしている。また、行政の協賛を受けて認知症予防のための催しを開催している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度について一部の職員が外部研修を受講し、他職員へ伝達を行って周知を図っている。また、家族等に家族会を通じて制度について説明し、パンフレットを配布している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回発行の事業所便りと併せて、利用者ごとに作成した便りと日常写真を手渡すか郵送して、暮らしぶり等を報告している。また、緊急時は、その都度家族等に状況を報告している。金銭管理については、月1回詳細を報告している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	代表者は、家族等が意見、不満、苦情をいつでも直接表せる関係を築き、それらを迅速に運営に反映させている。今後は、事業所以外の第三者相談窓口について重要事項説明書等に明示し、家族等へ説明してほしい。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は職員と面談を行い、共に問題解決するように心がけている。また、職員が離職等した場合、利用者へのダメージを防ぐために、職員間の引継ぎ期間を十分に設けている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用にあたっては公平性を持ち、性別や年齢で採用対象から排除しないようにしている。代表者及び管理者は、誰もが安心して働ける職場環境を目指し、勤務時間帯等、職員の希望に副うように配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する外部研修を受講し、併せて内部で伝達研修も行っている。パンフレット・研修記録・報告書・テキストがある。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりの能力や経験に応じて学ぶ機会を保障し、能力に応じた研修を受講できるように配慮している。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者ネットワークに加入している。管理者及び職員は、研修会や他事業所への見学を行って交流を深め、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に見学や自宅、病院への訪問を行っている。利用開始直後は、本人が落ち着き場の雰囲気馴染めるまで、職員が寄り添うように努めている。また、電話で利用者と家族が話せるよう、家族等と相談しながら工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備や洗濯等の協働作業を通して、職員は利用者と支え、労わりあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者本人だけでなく、家族等から希望及び本人の性格や生活歴を聴取して、意向の把握に努め、全職員で共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見や職員の気づき等を反映した個別具体的な介護計画を作成している。本人、家族へ説明し、同意の署名及び押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回、また利用者の状態変化や状況に応じて、現状に即した介護計画を見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際は、定期的に利用者を見舞いながら、本人・家族・医療機関と連携を図り、早期退院へ向けて取り組んでいる。本人や家族等の状況に応じて、通院や送迎等の必要な支援は、柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を大切にし、受診方法等を話し合い、それぞれ柔軟に対応している。また、事業所の協力医による往診や夜間の急変時等、24時間体制の受診も併せて支援している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について方針があり、利用開始時及び家族会で説明している。本人や家族等の意向を大切にし、重度化した場合はかかりつけ医、全職員を含めて話し合い、方針を共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は、職員が利用者の誇りやプライバシーを損ねないよう朝礼や研修で意識向上を図っている。また、日常的にプライバシーの確保について職員間で注意し合い、言葉かけや対応に配慮している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者の体調や希望等、一人ひとりの気持ちを推しはかりながら利用者のペースを大切にし、柔軟に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒に食事の準備や片付けをしている。職員は、利用者には声かけしながら見守りや介助をさり気なく行い、利用者と同じものと同じテーブルで食べている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望する時間に合わせて、入浴を支援している。入浴拒否の利用者には、職員が言葉かけや誘導のタイミングを計り、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、利用者のできることや得意なことを把握し、貼り絵、洗濯物たたみ、食事の準備等一人ひとりの生活歴や力を活かした役割を支援している。また、菜園の収穫を職員と利用者が共に行う等、楽しみごとを場面づくりの支援をしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や季節の花見、ドライブや買い物等、利用者の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は施錠していない。外出傾向のある利用者については全職員が把握し、見守りや付き添いを行っている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。年2回、消防署及び地域住民の協力を得て、日中と夜間の避難訓練を実施している。また、非常用食料や飲料水、備品等を準備している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が全利用者分ある。献立は、利用者の状態や嗜好を考慮して職員が作成している。年1回、栄養士から専門的なアドバイスを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、利用者が不快と感じる音や光はない。居間から季節の花木が眺められ、利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の馴染みの家具や小物を持ち込み、家族写真を飾る等して居室ごとに個性があり、本人が居心地のよく過ごせるような工夫をしている。</p>		

※ は、重点項目。